

文字形象表

交信区別形象表

名称	形象	正面	背面	旗の動かし方	用語および注意事項
起信				両手を上方垂直（真はは）にあげます。（ここでは、第12原画と同じ）次に、着左右水平まで同時に数回ふります。	受信者を呼ぶときに、送信をはじめるときに使います。
応信				両手を交互（こうご）に、上下垂直まで数回ふります。また、双縦線（そうじゆんきょう）を持った場合は、片手に2つの旗を持って上下に数回ふります。	送信者の起信（きしん）に答えて交信に応じるときに使います。
中継				両手をそれぞれななめ上方45度にあげます。（ここでは、第10原画と同じ）次に、頭上で交差するよう数回ふります。	交信の中継（ちゅうけい）をたのむとき、起信形象のかわりに使います。また、中継者が、受信者に、中継であることを知らせるときに使います。
消信				右手を右上方45度にだし、これを上方垂直と水平の間を数回ふります。	送信者が通信文の一部または、全部を取り消すときに、受信者が信号を解読できなかったときに代用します。
終信				両手を上方垂直（真はは）にあげます。第12原画と同じ動作。	通信文の送信を終了したときに使います。このとき、やや長くあげます。
解信				両手を上方垂直（真はは）にあげます。（ここでは、第12原画と同じ）次に、両手を平行のまま左右45度まで数回ふります。もし片手を使用している場合は、片手に2つの旗を持って左右に大きくふります。	受信者が通信文を解読したとき使います。
略語				両手を左右下方前45度にだし、これを下方で交差しながら数回ふります。	略語信号を送るときその略語の前後につけて使います。
発動				発動用意で右手を上方45度にあげ（第14原画と同じ）発動で急におろします。	起信形象の次にあけて、送信の用意と開始を知らせるときに使います。ゲームのときの、用意、始めと同じです。

- 交信の一般基本
- ・送信者「起信符」→受信者「応信符」→送信者「本文」→「終信符」→受信者「解信」
 - ・送信者（誤り）「一部消信」→受信者「一部消信」→送信者「本文」
 - ・受信者（一部不明）「一部消信」→送信者「一部消信」「本文」
 - ・送信者（全部取消し）「消信符」「終信符」→受信者「送信符」「終信符」
 - ・受信者（意味不明）「消信符」「サラ」→送信者「消信符」「起信符」「本文」

	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	キ	ラ	ワ
第1動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第2動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第3動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第1動	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ	キ	ル
第2動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第3動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第1動	ウ	ク	ツ	ズ	フ	ム	ユ	ル	ル	ル
第2動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第3動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第1動	エ	ケ	セ	テ	ヘ	メ	レ	エ	レ	エ
第2動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第3動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第1動	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ワ
第2動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
第3動	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ

起信符 第12原画の起信符
 応信符 第10原画の応信符
 中継符 第10原画の中継符
 消信符 第10原画の消信符
 終信符 第12原画の終信符
 解信符 第12原画の解信符
 略語符 第12原画の略語符
 発動符 第14原画の発動符